

令和 元年度  
事業実施報告書

新潟市南区社会福祉協議会

## 新潟市南区社会福祉協議会事業報告

### 【概 要】

少子高齢化や核家族化の進行、人口の減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化や地域での孤立、また複合的な多問題を抱える世帯や個人が増加している現状は変わっていません。

このような中、南区社会福祉協議会は、昨年度に引き続き、南区地域福祉アクションプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の検証を踏まえ、個別支援と地域支援を一体的に進めるとともに、多職種と連携・協働しながら、障がい者の移動をテーマとしたワークショップやひきこもり講座、災害ボランティアセンター初動立ち上げ訓練等を実施し、地域で誰もが安心して暮らすことのできる支えあいのまちづくりを推進してきました。

また、地域包括ケアシステムの構築に向け、南区支え合いのしくみづくり会議と連携して、区全体では支え合いのしくみづくりフォーラムの開催、地域の中では、勉強会や助け合い活動の立ち上げ支援などに取り組みました。

この他には、令和元年度から南区ボランティア・市民活動センター運営委員会を設置し、委員のご意見を聞きながら、ボランティアに関わる活動支援や各種講座の開催、福祉教育など、積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

事業の実施状況について次のとおり報告します。

## 【事業実施状況】

### 1. 地域福祉推進活動事業

#### (1) 地区社協活動支援

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

#### ○コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会 場	協議内容
令和元年 7月30日(火)	南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について</li><li>・令和元年度地区社会福祉協議会交付金について</li><li>・令和元年度地区社会福祉協議会活動推進事業について</li><li>・南区社会福祉協議会業務依頼について</li><li>・第13回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について</li></ul>

#### ○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

#### (2) ふれあい・いきいきネットワーク活動事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

#### (3) 南区地域福祉アクションプラン推進委員会

南区地域福祉アクションプラン第2期目（平成27年度～32年度までの6年間）の計画を推進するため、「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の4分野別及び地区ごとの地域福祉活動計画の評価を開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討しました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和元年8月9日(金) 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・委員長の選任について</li><li>・南区地域福祉アクションプランの概要について</li><li>・平成30年度南区地域福祉アクションプランの取り組みと評価</li></ul>
2	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 令和2年3月23日(月) 付で区より書面送付。	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取り組みについて</li><li>・地区別計画の取り組みについて（各地区推進員より報告）</li><li>・新潟市の地域福祉に関するアンケート結果について</li><li>・次期計画策定のスケジュール（案）について</li></ul>

#### （４）地域包括ケアシステム事業

市から生活支援体制整備事業を受託し、3圏域の支え合いのしくみづくり推進員（ＳＣ）とともに、地域コミュニティ協議会をはじめ、福祉関係団体や自治会・町内会等で説明会や勉強会を開催するなど、地域での助け合い・支え合いの活動を推進してまいりました。

「困ったときはお互いさま！」と気軽に頼み合うことができるよう、活動者の育成のため助け合いの学校を開催し、困りごとを気軽に頼める有償の助け合い活動である南区助け合い「お互いさま・新潟」の活動を開始しました。この活動は、新潟市全体で行われている助け合い「お互いさま・新潟」の活動の南区版で、1時間以内500円で日常生活における困りごとの支援を行います。延べ17件の相談が寄せられ、助け合いの学校修了者から支援をしていただきました。

今後は、地域包括ケア推進モデルハウスである天昌堂サロンで、南区助け合い「お互いさま・新潟」の相談窓口・活動拠点として、開設日は来所による相談に対応できるよう、運営者と協議し令和2年度は相談スペース等を整備していくこととしています。

また今年度は支え合いのしくみづくりフォーラムを開催し、講師を招いて南区における移動支援についての講演や、区内の助け合い活動実践団体のリレートーク、助け合いを劇でPRしている南の純金座の寸劇を行いました。

このほか、支え合いしくみづくり会議（協議体）構成員をはじめ、地区の民生委員児童委員協議会や地域包括支援センター、みなふくねっと、南区居宅連絡会等と連携し「南区ささえあいねっと」として情報交換、情報共有を図りながらネットワーク構築と、協働による区民向けの広報啓発に努めました。

#### ○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

回	開催日	主な内容
第7回	令和元年 12月24日（火） 南区役所101会議室	・南区第1層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について ・南区第2層支え合いのしくみづくり会議の開催報告並びに社会資源等について ・南区における「支え合いのしくみづくり」について ・南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催について 出席者17名（事務局等含む）
第8回 （開催延期）	令和2年 3月26日（木）	開催延期（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） ・令和元年度生活支援体制整備事業経過報告について ・南区第2層協議体の開催報告について ・地域包括ケア推進モデルハウス「天昌堂サロン」の実施状況について ・令和2年度事業方針について

## ○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	回	開催日
臼井・白根北圏域	第1回	令和元年 6月14日（金）
	第2回	令和元年 9月13日（金）
	第3回	令和元年12月12日（金）
	第4回	令和2年 3月12日（木）【中止】
白南・白根第一圏域	第1回	令和元年12月16日（月）
味方・月潟圏域	第1回	令和元年 6月28日（金）
	第2回	令和2年 1月24日（金）

## ○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内 容
令和2年 2月8日（土） 13:15～16:00	白根学習館 ラスペックホール	<p>第1部 記念講演 「南区の移動支援を考える」 ～支え合い・助け合いによる移動・外出支援について～ 講師：NPO 法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎民子 氏</p> <p>第2部 リレートーク 「南区の助け合い活動について」</p> <p>○大通地区【思いやりネット】 大通コミュニティ協議会 会長 鞠子幸一 氏</p> <p>○庄瀬地区【しなのがわ工房 ままや】 しなのがわ工房 ままや 代表 平山早苗 氏</p> <p>○味方地区【あじかた思いやりの会】 南区老人クラブ連合会味方地区協議会 会長 笠井昭男 氏</p> <p>○コーディネーター 新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 青木 茂 氏</p> <p>第3部 支え合い劇 南の純金座 参加者 約300名</p>

## 2. 区社協見守り・生活支援事業

### (1) 地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体で仲間づくりや多世代交流事業を実施する地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援、助成を行いました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに 59 実施団体の情報を掲載しました。

支え合いのしくみづくりについて説明を行いながら、月 1 回開催が月 2 回開催になるように啓発を行い、南の純金座による支え合いの寸劇鑑賞を通して地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンから助け合いにつながるよう広報に努めました。

### ○地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数							
	高齢者					子育て		高齢者					子育て		
	市助成			助成無		区社協助成		その他	市助成			助成無		区社協助成	その他
	月1 回 タイプ	月2 回 タイプ	週1 回 タイプ	不定期開催	季節開催等				月1 回 タイプ	月2 回 タイプ	週1 回 タイプ	不定期開催	季節開催等		
新飯田	2			1	1		鷲 巻	2							
茨曾根	4			1			根 岸	1			4				
庄 瀬	2		1				大 通	2			2				
小 林	4			2			白 根	12	1	1	1	1	1		
臼 井	2			1			味 方	6			3				
大 郷	1			2			月 潟	4		1	1				
(市助成金活用団体) 合計 46 か所							合 計	42	1	3	18	2	1		
月1タイプ (30,000 円) / 42 か所,							合 計	64 (63)					3 (4)		
月2タイプ (60,000 円) / 1 か所															
モデルハウス天昌堂サロン / 1 か所															
週1タイプ (240,000 円) / 2 か所															

※ ( ) 内は前年度数

## ○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
ふれあい親子まつり	令和元年11月9日(土) 9:45～11:30 白根健康福祉センター	NAMARA いっちゃん&MINA さん ・バルーンアート&ジャグリング ・親子あそび ・ゲームラリー（輪投げ、お菓子取り競争、魚釣り） 参加者：親子16組 （大人20人／子ども29人） 協 力：ボランティア（3人）、主任児童委員（5人）、子育て支援センターつくし園、ぴよぴよ、マリンキッズ、ふわっと（6人）、社協（2名）
南区ボランティア・サロン・元気力アップサポーター交流会	令和元年12月6日(金) 10:00～15:30 サルナート吉運堂 5階万葉の間	・活動発表3ボラ団体、2サロン ・グループワーク ・元気力アップサポーター制度について 参加者：80人 協 力：南区第2層支え合いのしくみづくり推進員
子育てサロン交流会 （開催中止）	令和2年3月2日(月) 白根学習館ルーム1・2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【予定内容】 「からだの歪みを知ろう！」 ・カイロプラクティック体験会 ・茶話会（情報交換）
地域の茶の間・いきいきサロン研修会 （開催中止）	令和2年3月4日(水) ・3月6日(金)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【予定内容】 ・助成金に係る書類について（報告申請） ・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン団体シートについて ・ボランティア行事用・活動保険について ・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動で活用できるタオル体操について
助成金に係る書類の書き方等相談会	令和2年3月10日(火) ～3月31日(火)	・2019年度事業実績報告書、収支決算書、令和2年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会

## (2) おせち料理等宅配事業

12 地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への昼食会、配食サービス、友愛訪問活動（安心箱配布事業）及びおせち宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食 サービス対象者数	安心箱配付 訪問回数	おせち配食 世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	12	11
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員	93 (3 回配食)	31	19
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	43 (配食)	42 (友愛訪問)	36
小林地区社協	民生委員	26 (昼食会)	185 (歳末慰問)	30
臼井地区社協	地区社協、民生委員	37 (配食)	93	27
大郷地区社協	地区社協、民生委員	81 (配食 2 回)	199	24
鷺巻地区社協	地区社協、民生委員	100 (配食)	20	19
根岸地区社協	地区社協、民生委員	85 (昼食会・茶の間の 交流含む)	0	19
大通地区社協	地区社協、民生委員	30 (昼食会)	146 (安心袋)	28
白根地区社協	地区社協、民生委員	380 (昼食会・配食)	—	199
味方地区社協	民生委員	—	0	49
月潟地区社協	民生委員	—	99	54
合 計		875 人 (866 人)	827 人 (872 人)	515 食 (534 食)

※（ ）内は前年度数



### (3) コミュニティソーシャルワーク事業

関係機関と情報共有をし、連携しながら個別に支援が必要な世帯が住み慣れた地域で生活できるよう継続的に関わりました。併せて、一昨年に取り組みました障がい者の福祉に関するアンケート結果や個別支援から見えた地域課題に対し、関係機関と新たな社会資源の検討や取り組み、地域への情報発信に努めました。

なお、課題に対する取り組みは次のとおり行いました。

回	開催日	主な内容
1	令和元年5月29日(水)	南区CSW検討会議(テーマ:障がい者の移動)
2	令和元年9月1日(日) ・9月8日(日)	障がい者の移動に関するワークショップ 対象:透析患者会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児者父母の会
3	令和元年9月6日(金)	多職種ネットワーク会議(テーマ:障がい者の暮らしの足を考える)
4	令和元年11月16日(土)	ひきこもり講座(新潟地域若者サポートステーションと共催)
5	令和元年11月22日(金)	障がい者団体区バス乗車体験

### ○南区保健医療福祉のつながりを深める会(共催)

南区社会福祉協議会として、多職種との連携・協働に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について、学習会並びに講演会の開催に協力しました。

開催日	会 場	内 容
令和元年8月31日(土)	サルナート吉運堂 万葉の間	在宅医療推進のための多職種連携研修 ○特別講演 ・「新潟県内の在宅医療・介護連携推進事業について」 ・「つばめ・やひこ入退院支援の取り組みについて」 ・「日常療養支援・看取りについて～医療と介護の連携ハンドブック～」 ○グループワーク 「みんなで考えよう 南区の入退院支援」 ○情報提供 「緊急情報キットについて」 参加者 81名
令和2年1月13日(月)	白根学習館ラスペックホール	在宅医療・介護の区民公開講座 ・講演:「人生の終わり、一緒に考えませんか？」 ～折れない心で人生の最後まで～ ・活動紹介「家で最後まで過ごすことができますか？」 ～南の場合～ 参加者 約300名

#### (4) 心配ごと相談事業

毎月第2・第4水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

相談員は、本部主催の相談員研修会に参加し研鑽されました。

[心配ごと相談所相談件数]

区 分	2019	H30	H29
開催日数 (回)	24	26	24
相談件数 (件)	9	12	6

[研修会]

日時・会場	主な内容	参加人数 (人)
2019年6月6日 (木) ～7日 (金) 金沢市社会福祉協議会	・心配ごと相談所相談員の視察研修	参加者なし
令和元年7月12日 (金) 市総合福祉会館	・家庭裁判所の機能、概要について Part2	10
令和元年9月5日 (木) 市総合福祉会館	・各区社協心配ごと相談所の取り組み報告 ・グループワーク「“8050 問題” について」	7
令和元年12月6日 (金) 市総合福祉会館	・全社協「民生委員児童委員のための相談技法う研修会」報告 ・ホスピタブルなつながりを築くコミュニケーションのレッスン	6
令和2年3月6日 (金) 市総合福祉会館	・人生いろいろ よろず相談 Part9 ～法律相談の基礎知識から最近の相談事例まで～	9

#### (5) 地域貢献事業

子どもから高齢者まで身体を動かし、楽しく交流することを目的としてフロアーカーリングを実施しました。

<開催日> 令和2年1月11日 (土)

<会場> 白根カルチャーセンター メインアリーナ

<参加者数> 59名

## （６）生活福祉資金貸付制度の推進

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。貸付には至りませんでしたが、生活に困窮した世帯には関係機関と連携し、生活の立て直しを支援しました。

なお、令和元年度３月からは、生活福祉資金特例貸付が開始されたことに伴い、新型コロナウイルス感染拡大による休業や失業のための収入の減少で生活に困窮した世帯の相談支援を行いました。

[新規貸付件数]

資金名		2019 年度(件)	平成 30 年度(件)	平成 29 年度(件)
生活福祉資金	総合支援資金	0	0	0
	福祉資金	0	0	0
	教育支援資金	0	1	1
	不動産担保型生活資金	0	0	0
合 計		0	1	1

[相談件数]

特例貸付(コナ)〔2019 年度〕	緊急小口資金	13
	総合支援資金	4

## ○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
3（7）	15（17）	4（2）

（ ）内は前年度数値

## ○緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治・町内会長の協力のもと配布しました。

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計（本）
新飯田	2	2	0	0	0	0	4
茨曾根	3	3	1	0	0	0	6
庄 瀬	1	0	0	0	0	0	1
小 林	2	0	0	0	0	0	2
臼 井	0	0	0	0	0	1	1
大 郷	2	0	0	0	0	0	2
鷺 巻	3	0	0	1	0	0	4
根 岸	0	0	1	0	0	0	1
大 通	6	4	1	0	0	0	11
白 根	5	0	0	0	0	0	5
味 方	0	4	0	0	0	0	4
月 潟	1	0	0	0	0	0	1
施 設	0	0	0	0	0	0	0
合 計	25	13	2	1	0	1	42

\*令和元年度末までの総配布数 1,063 本(うち 133 本有償)

### 3. ボランティアの育成と活動支援

#### (1) ボランティア・市民活動センター事業の推進

ボランティア活動に参加したい方、ボランティアを必要とする福祉施設等からのボランティアに関する多様な相談に応じ、必要な情報提供や調整、ボランティア保険の加入手続き等、ボランティア・市民活動推進のための支援を行いました。

また、災害ボランティアセンターについて理解を深めていただくため、南区の登録ボランティアの方々を対象に県内防災施設のバス視察を行いました。

#### ○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	6	2	6	2	1	1	33	1	52
所属人数	80	38	88	70	15	15	695	40	1041
個人人数	5	2	0	0	0	0	4	6	17

#### ○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事保険（件）
549	647

## ○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい（件）	ボランティア 欲しい（件）	情報提供 したい（件）	情報欲しい（件）	計（件）
9	18	0	16	43

## ○災害関係

令和元年度は、初動立ち上げ訓練を行い、災害の内容をより具体的に想定し、情報の受動的把握・能動的把握のスキルを学び、災害ボランティアセンターの設置判断やセンターの設計図を描くことを学習しました。

※当初予定していた日本青年会議所新潟ブロック協議会との広域連携訓練が、台風 19 号の影響で中止となったため、南区単独で行う訓練に新潟ブロック協議会のメンバーの方から参加していただきました。

区分	2019	H30	H29
設置訓練参加者数（人）	24	86	62

### <実施状況>

開催日	会 場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和元年 12 月 11 日(水)	南区社協	南区災害ボランティアセンター設置訓練 白根 JC、日本青年会議所新潟ブロック協議会、 南区日赤奉仕団、南区役所地域総務課、健康福祉課、南区社協	24

## （２）災害ボランティアセンター検討委員会

前半は、味方体育館において 150 名規模で行う予定だった日本青年会議所新潟ブロック協議会との広域連携の形を検討し、開催要項を作成しました。訓練実施後は、訓練の振り返り及び、次年度の検討委員会の体制について検討しました。

区 分	2019	H30	H29
検討委員会回数（回）	5	6	6
検討委員数（人）	9	10	13

### <実施状況>

開催日	内容	参加委員数(人)
平成 31 年 4 月 15 日(月)	新規メンバー顔合せ、令和元年度訓練内容検討	9
令和 元年 6 月 17 日(月)	令和元年度訓練内容検討	10
8 月 19 日(月)	令和元年度訓練内容検討	6
10 月 20 日(日)	令和元年度訓練の日程再調整、縮小版の形を検討	9
2 月 16 日(日)	令和元年度訓練の振り返り、次年度訓練方向性検討	7

### (3) ボランティア・市民活動センター運営委員会

令和元年度に、ボランティア・市民活動センターの運営及び事業を円滑に実施することを目的として、運営委員会を設置しました。運営委員には、本会理事、ボランティア・市民活動者、福祉施設・団体関係者、児童関係者、企業関係者の方々6名に依頼し、運営委員会を開催しました。

区 分	2019	H30	H29
運営委員会回数(回)	1	—	—
検討委員数(人)	5	—	—

### (4) ボランティア講座・交流会

きっかけづくり講座では、障がい者施設で作る果物の瓶詰を使い、障がい者等の居場所を会場に講座を開催し、障がい者に対するボランティアについて理解を深めていただきました。交流会では、南区に登録しているボランティア団体・サロンが、お互いの活動を知る機会として、活動発表やグループワークを行いました。

区 分	2019	H30	H29
ボラ講座参加者数（人）	29	169	238
新規ボラ団体設立（団体）	0	0	0
交流会参加者数（人）	119	87	128
施設研修会参加数（人）	16	19	11

#### <実施状況>

事業名	参加者数（延べ人数）
ボランティアきっかけ作り講座（精神障がいの理解） 新潟産米粉と地産フルーツのスイーツ作り	8
南区視察バス研修（長岡市山古志地区）	21
ボランティア・サロン・元気力アップ交流会	80
中学生ボランティア交流会	39
ボランティア受入施設担当者研修	16

### (5) 福祉教育

小学校、高校で各種体験学習や障がい者交流プログラム、高齢者施設の訪問など多岐にわたる内容で、高齢者、障がい者への理解を深める福祉教育を行いました。そのほか、大人を対象としたボランティア講座や防災訓練を通して、社会の中で福祉教育の在り方を考える土壌を醸成しました。

区 分	2019	H30	H29
福祉教育実施学校（校）	12	11	9
大人の福祉教育実施（回）	3	1	2

<実施状況>

対 象	内 容	回	参加者数(延べ)
新飯田小学校 4 年生	福祉について、車いす体験、高齢者体験、アイマスク体験、当事者交流	5	85
茨曽根小学校 5 年生	福祉について、車いす体験、高齢者体験、認知症について	4	56
庄瀬小学校 4 年生	福祉について、車いす体験、高齢者体験	3	36
小林小学校 4 年生	福祉について、車いす体験、高齢者体験、アイマスク体験	4	100
臼井小学校 4 年生	福祉について、車いす体験	2	46
大鷲小学校 4 年生	福祉について、高齢者体験、アイマスク体験、当事者交流、施設訪問	5	55
根岸小学校 4 年生	福祉について、高齢者体験	2	46
大通小学校 3 年生	高齢者体験、アイマスク体験	6	154
大通小学校 4 年生	防災訓練（非常食体験）	1	77
味方小学校 4 年生	福祉について、車いす体験、高齢者体験、当事者交流	4	164
月潟小学校 4 年生	高齢者体験	1	29
白根高等学校 3 年生	アイマスク体験、ボランティアについて	2	66
新潟白根総合病院	ボランティアについて	1	9
大通 1 丁目自治会	防災訓練（要介助者搬送）	2	45
大通西自治会	防災訓練（要介助者搬送）	1	10

○南区ボランティア・市民活動センターだよりの発行

令和元年 10 月、令和 2 年 3 月発行 各 640 部

ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先に配布

#### 4. 区社協広報・啓発活動事業

##### (1) 南区社会福祉大会並びに健康福祉フェアの開催

南区社会福祉大会並びに南区健康福祉フェアを開催し、福祉と保健が一同に会し、相互に連携を深め、民間福祉事業、ボランティア活動並びに健康づくり活動が向上、普及するために、地域の活動団体と区民の交流、社会参加の実現を図りました。

開催日・会場	主な内容
令和元年 10 月 5 日（土） 白根学習館 約 500 名（約 500 名） （ ）内は前年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バザー、介護事業所等のパネル・作品展示、健康コーナー等</li> <li>・記念講演「夢を叶える力」 ～元アルペンスキーヤー皆川賢太郎の挑戦～</li> <li>講師：元アルペンスキーヤー 全日本スキー連盟理事 皆川賢太郎 氏</li> <li>・第 13 回社会福祉大会 会長表彰式</li> <li>白根北中学校生徒による意見発表</li> </ul>

##### (2) 広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第 41 号	令和元年 7 月 7 日（日）	地域の活動紹介、情報キット案内、R1 年度事業計画・予算、平成 30 年度事業・決算報告、社協会費納入のお願い、共同募金実績報告、法人募金報告、ふれあいネットワーク、南区健康福祉フェアの案内、障がい者福祉アンケート結果、お互い様新潟、心配ごと相談所のお知らせ、他
区社協だよりみなみ 第 42 号	令和元年 9 月 22 日（日）	南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会のお知らせ、地域の茶の間・子育てサロン MAP、地域の活動紹介、共同募金運動協力をお願い、賛助会員企業お礼、南区ふれあい親子まつり・フローアーカーリング大会・ボランティアきっかけ作り講座の開催案内、ファミリーサポートセンター、心配ごと相談所の開設について 障がい者期間相談支援センター、他
区社協だよりみなみ 第 43 号	令和 2 年 2 月 23 日（日）	寄付御礼、南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会の報告、R1 年度ボランティア個人・団体登録募集、R1 年度共同募金法人募金実績・法人募金報告、地域の活動紹介、他



区ボランティア・市民 活動センターだより No.7	令和元年 10 月初旬	視察バス研修及び交流会の告知、サマチャレの 活動レポート、福祉教育及び防災訓練の報告、 元気力アップサポーター案内
区ボランティア・市民 活動センターだより No.8	令和 2 年 3 月中旬	障がい者交流プログラム（福祉教育）での子ども たちのお手紙紹介、ボランティア団体定例会 報告、交流会・研修・講座の報告、助成金案内

## 5. 区社協運営事業

### （1）理事会の開催状況

区 分	開催日・会場	協議題
第 1 回理事会	平成 31 年 4 月 12 日(金) 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南区社協 理事の一部選任について</li> <li>・ 南区社協 会長・副会長選任について</li> <li>・ 南区社協 監事の選任について</li> </ul>
第 2 回理事会	令和元年 5 月 31 日(金) 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度 南区社協 事業実施報告について</li> <li>・ 平成 30 年度 南区社協 収支決算について</li> </ul>
第 3 回理事会	令和元年 9 月 18 日(水) 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南区健康福祉フェア並びに南区社会福祉大会について</li> <li>・ 南区社会福祉大会被表彰者等の選考について</li> </ul>
第 4 回理事会	令和元年 3 月 9 日(月) 開催予定が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 書面表決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 2 年度 南区社協 事業計画（案）について</li> <li>・ 令和 2 年度 南区社協 収支予算（案）について</li> <li>・ 南区社協 役員の一部選任について</li> </ul>

### （2）監事会の開催

区 分	開催日・会場	監査事項
監事会	令和元年 5 月 17 日(金) 南区社会福祉協議会 1 階相談室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 30 年度南区社会福祉協議会事業実施報告について</li> <li>・ 平成 30 年度南区社会福祉協議会収支決算について</li> </ul>

### (3) 会員会費の納入状況(目標額：1世帯500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯田	476	476	100.0	238,000
茨曾根	412	411	99.8	205,500
庄瀬	649	641	98.8	320,500
小林	1,179	959	81.3	479,500
白井	969	820	84.6	409,600
大郷	453	423	93.4	211,500
鷺巻	519	490	94.4	245,000
根岸	1,159	996	85.9	498,000
大通	2,257	1,862	82.5	931,000
白根	3,736	3,013	80.6	1,506,300
味方	1,262	953	75.5	476,060
月潟	1,159	975	84.1	487,500
合計	14,230 (14,070)	12,019 (12,299)	84.5 (87.4)	6,008,460 (6,146,900)

※( )内は前年度数値

### (4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個人 110人 83,050円 (106人 86,500円)

法人 23社 140,000円 (24社 145,000円)

## 6. 市受託事業の推進

### (1) 生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会場	開設曜日	開設 日数	延べ利用者数	主な内容
白根健康福祉センター 2階	火～土曜日	222日	1,458人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

## (2) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により、交付金として還元するものです。当該制度が円滑に運営できるように、研修会の開催、受入施設へのコーディネートのほか、サポーター交流会を開催し、研修・交流を行ないました。

区 分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数（施設）
	開催数（回）	参加者数（人）		
令和元年度	13	9	（新規）8	3
累 計	223	174	168	45

## 7. 共同募金事業の推進

[令和元年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区 分	令和元年度 目標額	令和元年度 実績額	達成率	平成 30 年度 実績額	対前年比較
共同募金	7,252,000 円	6,805,851 円	93.8%	7,005,132 円	△199,281 円
歳末募金	2,683,000 円	2,897,086 円	108.0%	2,713,696 円	183,390 円
合 計	9,935,000 円	9,702,937 円	97.7%	9,718,828 円	△15,891 円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,576,446 円	81.9%
法人募金	774,424 円	11.4%
学校募金	211,508 円	3.1%
街頭募金	9,327 円	0.1%
職域募金	122,695 円	1.8%
イベント募金	31,708 円	0.5%
その他募金	79,743 円	1.2%
合 計	6,805,851 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,794,166 円	96.4%
職域募金	102,919 円	3.6%
その他募金	1 円	0.0%
合 計	2,897,086 円	100.0%